

1. 件 名：株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンの事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日 時：令和4年5月12日 10:00 ～ 11:15

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

澤村防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

蔦澤防災専門職

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

環境安全部担当課長 他2名

5. 要 旨

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンから、令和4年2月15日に実施した原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内・社外評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

それに対して原子力規制庁から、気象情報に係る情報提供の改善策は要素訓練を通じて技量の向上を図ること、敷地境界のモニタリング計画についてCOPにおける位置づけを明確にしておくこと、及び新たな課題として通報文の記載の適正化について原因分析、具体的な対策を検討することを伝えるとともに、本日の面談を踏まえ、今後の原子力災害対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるよう伝えた。

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンから、本日の面談を踏まえ防災訓練結果報告書を取りまとめ、後日説明するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 令和3年度 事業者防災訓練 訓練課題対応資料

(株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)